

2016 年度 東京学芸大学次世代教育研究推進機構(NGE)シンポジウムのご案内 (第 1 報)

1 はじめに

東京学芸大学次世代教育研究推進機構では、文部科学省特別経費による研究プロジェクト「日本における次世代対応型教育モデルの研究開発」を 2015 年度より 3 年間実施しております。

プロジェクトのミッションは、OECD による The Future of Education and Skills: Education 2030 (以下、Education2030) 事業と協働して、21 世紀の人材に求められるコンピテンシーを育成するための指導/学習モデルを構築することです。プロジェクトでは、これまで OECD が注目する知識(knowledge)とスキル(skills)と態度/価値(attitudes and values)の 3 つの力について、それらを小中学校での教科等の学びを通じてどのように育成するかの指導/学習モデルの開発を進め、同時にその評価法の検討も実施してきました。これらの研究は、次期学習指導要領の中心をなす「資質・能力の 3 つの柱」の実践に貢献できるものと位置づけられ、それに向け、教科横断的なスキルと態度/価値の育成やカリキュラム・マネジメントのための基礎知見などを明らかにできると考えております。

このたび、プロジェクトが残り 1 年となるのを前に、多くの専門家の皆様にプロジェクトの成果と今後の展開につきましてご批判・ご指導を賜りたく、シンポジウムを企画致しました。年度末のご多忙の折で恐縮ですが、何卒ご出席頂きたく、宜しく願い申し上げます。

2 テーマ 21 世紀のコンピテンシーを育成するための指導・学習のあり方とは？

—OECD との協働による指導/学習モデルの提案—

3 主催 東京学芸大学 次世代教育研究推進機構 (NGE: Next-Generation Education project)
(文部科学省及び東京都教育委員会からの後援を予定しています。)

4 日時 2017 年 3 月 11 日 (土) 13:00-17:05 (12:30 開場)

5 会場 東京国際フォーラム (JR 山手線・京浜東北線 有楽町駅 国際フォーラム改札口)

6 プログラム(案)

- 13:00 開始
- 13:00-13:10 開会挨拶 (東京学芸大学学長 出口利定)
- 13:10-14:10 講演 2 件 (鈴木 寛 文部科学大臣補佐官・東京大学教授・OECD 日本イノベーション教育ネットワーク代表 (予定))
(OECD による Education 2030 事業担当者)
- 14:10-14:20 休憩
- 14:20-15:40 成果報告
 - ・概要説明, スキルと態度/価値を育成する指導/学習モデル試案, さまざまな評価方法の研究成果紹介, 等 (NGE スタッフ: 大学教員・附属学校教員)
- 15:40-15:50 休憩
- 15:50-17:00 ディスカッション
 - ・指定討論者 3 名 (OECD 関係者, 教育研究者, 現職教員を予定) と成果報告者との間で, NGE の報告およびこれからの教育の課題についての討議
- 17:00-17:05 閉会挨拶 (東京学芸大学副学長 松田恵示)

7 参加方法

参加費は無料です。参加申し込みは Web で行います。なお、定員に達した場合お断りすることがあります。申し込み用 Web の URL は、詳細な要項 (1 月発行予定) にてあらためてお知らせ致します。

8 お問い合わせ 東京学芸大学 次世代教育研究推進機構事務局 Tel 042-329-7924

メール jisedai@u-gakugei.ac.jp ホームページ <http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai>